

令和6年度第1回やまぐち部活動改革推進協議会（概要）

| | |
|------|---|
| 日 時 | 令和6年7月30日（火）10時00分から12時00分 |
| 場 所 | 県庁3階 職員ホール |
| 構成委員 | 学識経験者、山口県中学校長会、山口県高等学校長協会、山口県中体連、山口県中文連、山口県吹奏楽連盟、山口県PTA連合会、山口県スポーツ協会、山口県都市教育長会、山口県町教育長会、総合型地域スポーツクラブ山口県連絡協議会 |
| 出席者 | 別紙参照 |
| 主な内容 | <p>(1) 所管説明 教育庁 学校安全・体育課 教職員課 観光スポーツ文化部 スポーツ推進課</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和6年度の県及び市町の取組や今後の方向性について 2 教職員が地域クラブ活動に従事する場合の兼職兼業について 3 実証事業の取組、指導者研修会の開催、人材バンクの運用等について <p>(2) 取組事例発表「令和6年度実証事業に係る取組の方向性について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 下関市観光スポーツ文化部 スポーツ振興課 課長 木村 浩史 ○ 防府市教育委員会 学校教育課 総括コーディネーター 中村 昇 ○ 長門市観光スポーツ文化部 部活動地域移行準備室 室長 橋本 篤 <p>(3) 推進協議会委員による意見交換</p> <p>テーマ①：「地域クラブ活動等の指導者や運営に携わる人材の確保」</p> <p>テーマ②：「地域移行に不安を抱く生徒や保護者に対する周知の促進」</p> |
| 主な発言 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 人材確保については、公務員のサービスの在り方や民間企業への依頼など多くの方に関わっていただけるような体制づくりを行い、まちづくりの一環として参画してもらいたい。 ○ 教職員の生徒への関りや部活動での指導実績は、人材確保をする上で、非常に貴重であることから、勤務時間の終了後、すぐに地域へ貢献ができるよう業務の見直しや学校運営体制の構築も必要である。 ○ 子どもの活動機会が減少することなくしっかりと確保・充実するよう学校部活動の意義を継承・発展した活動が行われるような地域移行にしなければならない。 ○ 行政や教育委員会と学校がしっかりと連携し、先の見通しをもって、生徒・保護者が不安を抱くことがないように周知を進めていくことが大切である。 ○ 県の設置した人材バンク等の登録促進を行い、しっかりと活用することで、生徒・保護者は自分たちのニーズに応じた活動の情報を得ることができ、活動の機会確保にむけての安心につながるのではないか。 |